

「人・自然・ふるさとを愛する児童生徒の育成」

甲州市立東雲小学校



東雲小学校校歌

明ける山なみ 空あかね
さくら並木に 輝けば
文化の花の 咲くところ
希望に満ちて ほほもえて
集う東雲 われらの学園
実る真玉に 風かおる
ゆかりの里の えびかずら
祈りの鐘の なるところ
少年の夢 清らかに
学ぶ東雲 楽しい学園
光さやかな 高原に
白根の峰を 遠く見て
平和の雲の 行くところ
愛と誠の ひとすじに
進む東雲 栄えある学園

作詞・地元休息の河村義昌氏（元都留文大教授）
祈りの鐘・立正寺の鐘楼
少年の夢・フランスでワイン醸造の技術を学んだ
土屋氏、高野氏
白根の峰・南アルプス白根三山の峰

本校は、甲府盆地の東部、峡東地域の南部に位置します。古来より日川の流れによる砂粒を多く含んだ扇状地が形成され、また夏冬の寒暖の差が大きく、有史以来その気候風土に合う葡萄栽培が盛んであり、葡萄とワインの町「かつぬま」の名前は全国的にも知られています。さらに中央高速道路勝沼ICを抱え、山梨と東京、神奈川、千葉、埼玉等、首都圏への物流の玄関先にもなっています。平成17年、旧塩山市、旧勝沼町、旧大和村の三市町村が合併し甲州市となりました。本校は旧勝沼町の西部に建ち、西の重川、北の鬢櫛川、南の田草川に囲まれ、東雲村として集落を形成してきました。学区は、桃や葡萄栽培を中心とした果樹地帯が広がっています。富士山と金峰山を結ぶ修験者の街道（行者街道）が通り、日蓮宗立正寺、飯綱神社、伏木神社等、多くの歴史的文化的施設があります。近年は果樹栽培と観光による経済の発展を考え、地域住民主体の町おこし地域おこしに力を入れています。こうした地域の産業や歴史、文化、伝統等を各教科等の学習素材として開発し、教材として活用したり、体験活動を積極的に取り入れたりすることで、子どもたちがより実感できる地域活動を進めています。学習を通して、先人たちが築いた伝統や文化、人々の思いや願い、生き方を学び、郷土や地域、家族や自身自身に愛着や誇りを持つことのできる児童を育成しています。